路盤材材料試験結果報告書

依　頼　者　：株式会社　早出川建設

材　料　名　：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　(RC-40)

材 料 産 地 ：五泉市　論瀬　地内

令　和　7　年　3　月

本間道路株式会社　試験センター

〒959-1604　新潟県五泉市論瀬8803番地1

TEL:0250-42-5560

FAX:0250-47-7071

試験概要

依　頼　者　：株式会社　早出川建設

材　料　名　：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　(RC-40)

材 料 産 地 ：五泉市　論瀬　地内

試 験 期 間 ：自　令和　7　年　1　月　20　日
至　令和　7　年　3　月　28　日

試 験 内 容 ：試験内容は以下のとおりである。

1）骨材のふるい分け試験 …… JIS A 1102
2）ﾛｻﾝｾﾞﾙｽ機による粗骨材のすり減り減量試験 …… JIS A 1121
3）土の液性限界・塑性限界試験 …… JIS A 1205
4）突固めによる土の締固め試験 …… JIS A 1210
5）修正CBR試験 …… 舗装調査・試験法便覧
6）異物混入率試験 …… ｺﾝｸﾘｰﾄ系・ｱｽﾌｧﾙﾄ系再生材利用の手引き(案)

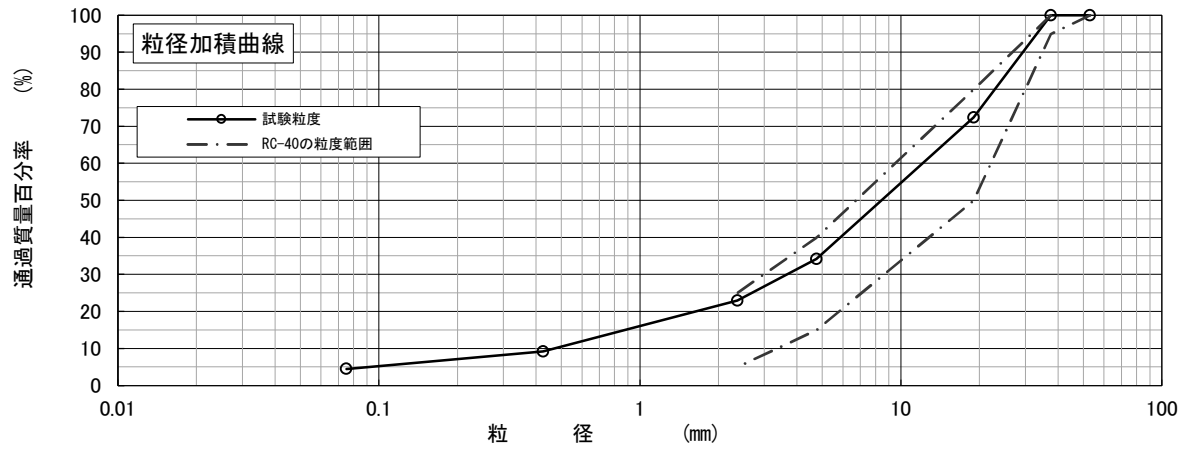
試 験 会 社 ：本間道路株式会社　試験センター

路盤材材料試験結果一覧表

材　料　名　：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　(RC-40)　　試験年月日：2025年3月28日

用　　途　　：下層路盤　　整理担当者：樋山　義弘

試験項目				試験規格	試験値	規格値
一般	含水比(搬入時)		(%)	JIS A 1203	―	
	密度・吸水率	表乾密度	(g/cm^3)	JIS A 1109 JIS A 1110	―	
		かさ密度	(g/cm^3)		―	
		見掛密度	(g/cm^3)		―	
		吸水率			―	
	コンシステンシー	液性限界	(%)	JIS A 1205	N.P	
		塑性限界	(%)		N.P	
		塑性指数			N.P	6以下
	すり減り減量		(%)	JIS A 1121	21.7	50以下
	損失量		(%)	JIS A 1122	―	
	異物混入率		(%)	※1	0.01	1.5以下
粒度特性	通過質量百分率(%)	53	(mm)	JIS A 1102	100.0	100
		37.5			100.0	95 ～ 100
		31.5				
		26.5				
		19			72.4	50 ～ 80
		13.2				
		4.75			34.2	15 ～ 40
		2.36			22.9	5 ～ 25
		0.425			9.2	
		0.075			4.5	
締固め特性	試験方法			JIS A 1210	E-b法	
	最大乾燥密度		(g/cm^3)		2.024	
	最適含水比		(%)		8.9	
	修正CBR		(%)	舗装調査・試験法便覧	94.3	20以上



備考)　※1　ｺﾝｸﾘｰﾄ系・ｱｽﾌｧﾙﾄ系再生材利用の手引き(案)

JIS A 1205
JGS 0141

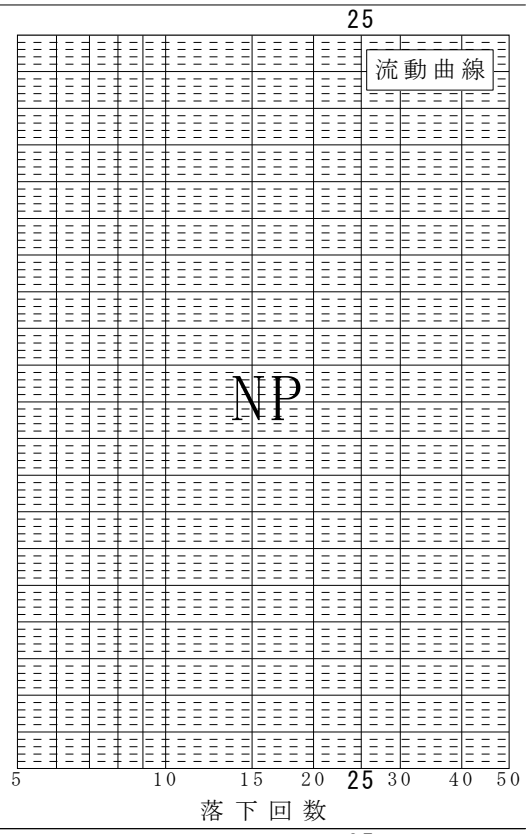
土の液性限界・塑性限界試験（測定）

調査件名　再生路盤材　材料試験

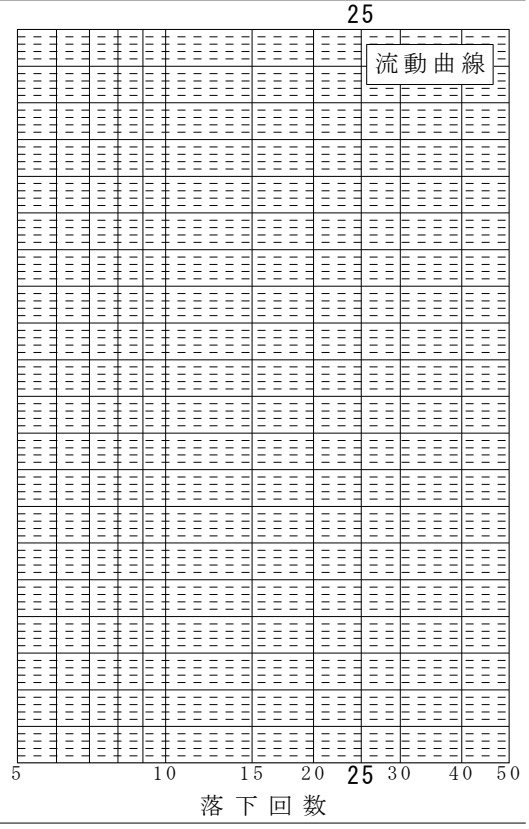
試験年月日　2025年　2月 26日

試　験　者　樋山　義弘

試料番号（深さ）	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）		
液性限界試験			
落下回数			
含水比 容器No.			
含水比 m_a g			
含水比 m_b g			
含水比 m_c g			
含水比 ω %			
落下回数			
含水比 容器No.			
含水比 m_a g			
含水比 m_b g			
含水比 m_c g			
含水比 ω %			
塑性限界試験			
含水比 容器No.			
含水比 m_a g			
含水比 m_b g			
含水比 m_c g			
含水比 ω %			
液性限界 ω_L %	塑性限界 ω_P %	塑性指数 I_P	
NP	NP	NP	



試料番号（深さ）			
液性限界試験			
落下回数			
含水比 容器No.			
含水比 m_a g			
含水比 m_b g			
含水比 m_c g			
含水比 ω %			
落下回数			
含水比 容器No.			
含水比 m_a g			
含水比 m_b g			
含水比 m_c g			
含水比 ω %			
塑性限界試験			
含水比 容器No.			
含水比 m_a g			
含水比 m_b g			
含水比 m_c g			
含水比 ω %			
液性限界 ω_L %	塑性限界 ω_P %	塑性指数 I_P	



特記事項

砂分多く、試験不可。

JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすり減り試験	

調　査　名　：再生路盤材材料試験　　試 験 年 月 日：2025年2月26日

試 料 番 号　：再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試　験　場　所：本間道路㈱ 試験センター

試料採取場所　：五泉市　論瀬　地内　　試　　験　　者：　樋山　義弘

骨材の種類　：砕石　　鋼　球　の　数：　8　個

粒 度 区 分　：13.2㎜～4.75㎜　　鋼 球 の 質 量：　3314　g

試 料 質 量　：5000.0　g　　回　　転　　数：　500　回

ふるい目の開き (㎜)	試験前の粒度 累加残留質量 (g)	累加残留質量百分率 (%)	通過質量百分率 (%)	試験後の粒度 1 累加残留質量 (g)	1 累加残留率 (%)	1 通過率 (%)	2 累加残留質量 (g)	2 累加残留率 (%)	2 通過率 (%)
63									
53									
37.5									
31.5									
26.5									
19									
13.2	0.0	0.0	100.0						
9.5									
4.75	5000.0	100.0	0.0						
2.36									
1.7									

すり減り試験結果

測　定　番　号		1	2
① 試験前の試料質量 (g)		5000.0	5000.0
② 試験後の試料質量 (g)			
③ 1.7㎜ふるい残留物の水洗い後の質量 (g)		3897.0	3933.2
④ すり減り損失質量 (g)	①－③	1103.0	1066.8
⑤ すり減り減量 (%)	④／①	22.1	21.3
⑥ 平均値		21.7	

異物混入率試験報告書

材　料　名	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40)	試験年月日	2025年2月21日
製 造 者 名	株式会社　早出川建設	試 験 場 所	本間道路㈱試験センター
採 取 場 所	五泉市　論瀬　地内	試 験 者 名	樋山　義弘

骨材の最大寸法　40　mm

構成比率:　Co系再生骨材:As系再生骨材:C-40＝　100 : 0 : 0

測　定　番　号		1	2
① 試料質量 (g)		15437	15504
② 軟質系異物質量 (g)		0.0	0.0
③ 軟質系異物混入率 (%)	②/①×100	0.00	0.00
④ 硬質系異物質量 (g)		1.3	0.0
⑤ 硬質系異物混入率 (%)	②/①×100	0.01	0.00
⑥ 有機系異物質量 (g)		0.0	0.8
⑦ 有機系異物混入率 (%)	②/①×100	0.00	0.01
⑧ 異物混入率総和 (%)	③＋⑤＋⑦	0.01	0.01
平　　均		0.01	

備考

① 軟質系混合物　：　プラスチック片、ガラス片、石膏片、ビニール片等

② 硬質系混合物　：　煉瓦片、タイル片、金属片等

③ 有機質系混合物　：　木材片、紙片、草根等

※　異物混入率の上限値の目安

種類	総量規格値(質量比)
プラスチック片、ガラス屑	1.5%以下
煉瓦・タイル片・金属片	
木材等有機物、紙	

Co系・As系再生材利用の手引き(案)より

JIS A 1102	骨 材 の ふ る い 分 け 試 験	

調査名・目的	再生路盤材　材料試験	試験年月日	2025年2月21日
試料番号	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）	使用場所	本間道路㈱試験ｾﾝﾀｰ
試料採取場所		試験者	樋山　義弘

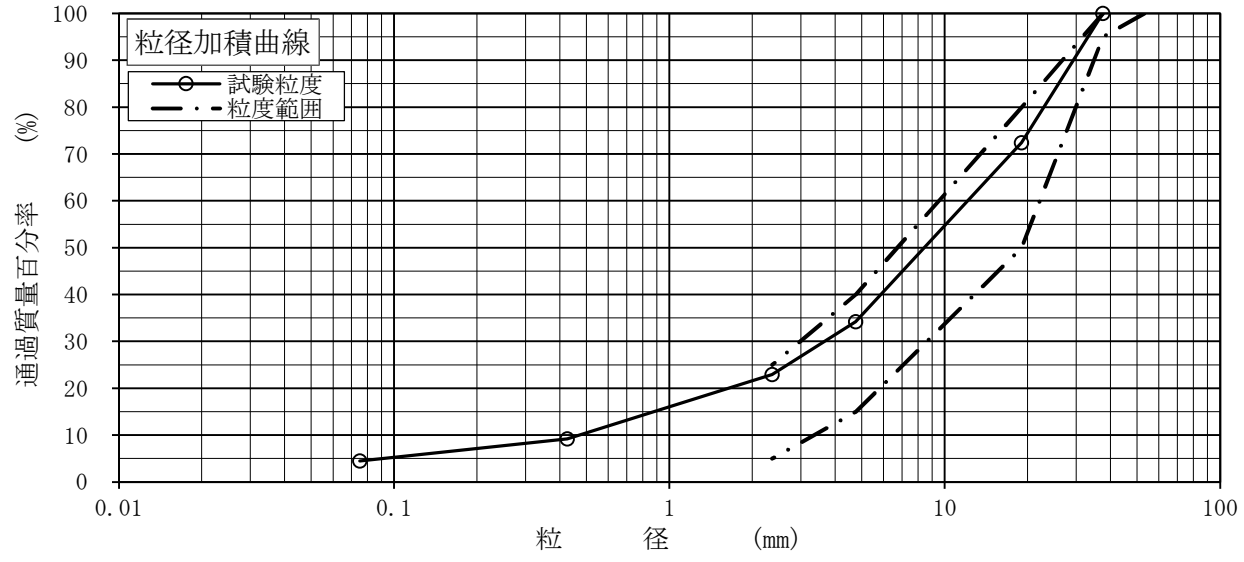
（全試料＋容器）質量	15437.8	g	（2.36mm通過試料＋容器）質量	11895.8	g
容器質量	0.0	g	容器質量		g
全試料質量	15437.8	g	2.36mm通過試料質量	3542.0	g
2.36mm残留試料質量	11895.8	g	全試料に対する2.36mm通過試料の割合	22.944	%

2.36mmふるい残留試料のふるい分け

	ふるい (mm)	加積残留試料＋容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)
	75					
*	53					
*	37.5			0.0	0.0	100.0
	31.5					
	26.5					
*	19			4256.2	27.6	72.4
	13.2					
	9.5					
*	4.75			10165.2	65.8	34.2
*	2.36			11895.8	77.1	22.9

2.36mmふるい通過試料のふるい分け

ふるい (mm)	加積残留試料＋容器質量 (g)	容器質量 (g)	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	通過質量百分率 (%)	全試料に対する通過質量百分率 (%)
1.18						
0.6						
0.425			2130.5	60.1	39.9	9.2
0.3						
0.15						
0.075			2854.7	80.6	19.4	4.5



JIS A 1210
JGS 0711

突固めによる土の締固め試験（測定）

調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月 17日

試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試　験　者　樋山　義弘

試験方法		Ｅ－ｂ	土質名称				
試料の準備方法		乾燥法	ランマー質量 kg	4.5	モールド	内径 cm	15
試料の使用方法		非繰返し法	落下高さ cm	45		高さ[1] cm	12.5
含水比	試料分取後 ω_0 %		突固め回数 回/層	92		容量 V cm^3	2209
	乾燥処理後 ω_1 %		突固め層数 層	3		質量 m_1[2] g	3905

測定 No.		1	2	3	4
(試料+ﾓｰﾙﾄﾞ)質量 m_2[2]	g	8357	8447	8642	8747
湿潤密度 ρ_t	g/cm^3	2.015	2.056	2.144	2.192
平均含水比 ω	%	5.7	6.7	7.8	8.5
乾燥密度 ρ_d	g/cm^3	1.906	1.927	1.989	2.020
含水比 容器 No.		214	218	262	264
m_a	g	4995.5	5102.7	5595.7	5685.2
m_b	g	4756.2	4816.8	5253.2	5305.0
m_c	g	561.2	572.6	872.0	852.5
ω	%	5.7	6.7	7.8	8.5
含水比 容器 No.					
m_a	g				
m_b	g				
m_c	g				
ω	%				

測定 No.		5	6	7	8
(試料+ﾓｰﾙﾄﾞ)質量 m_2[2]	g	8776	8746		
湿潤密度 ρ_t	g/cm^3	2.205	2.191		
平均含水比 ω	%	9.5	10.3		
乾燥密度 ρ_d	g/cm^3	2.014	1.986		
含水比 容器 No.		245	252		
m_a	g	5727.2	5687.9		
m_b	g	5306.3	5236.7		
m_c	g	871.1	865.8		
ω	%	9.5	10.3		
含水比 容器 No.					
m_a	g				
m_b	g				
m_c	g				
ω	%				

特記事項

1）内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。
2）モールドの質量は底板を含む。

$$\rho_d = \frac{\rho_t}{1 + \omega / 100}$$

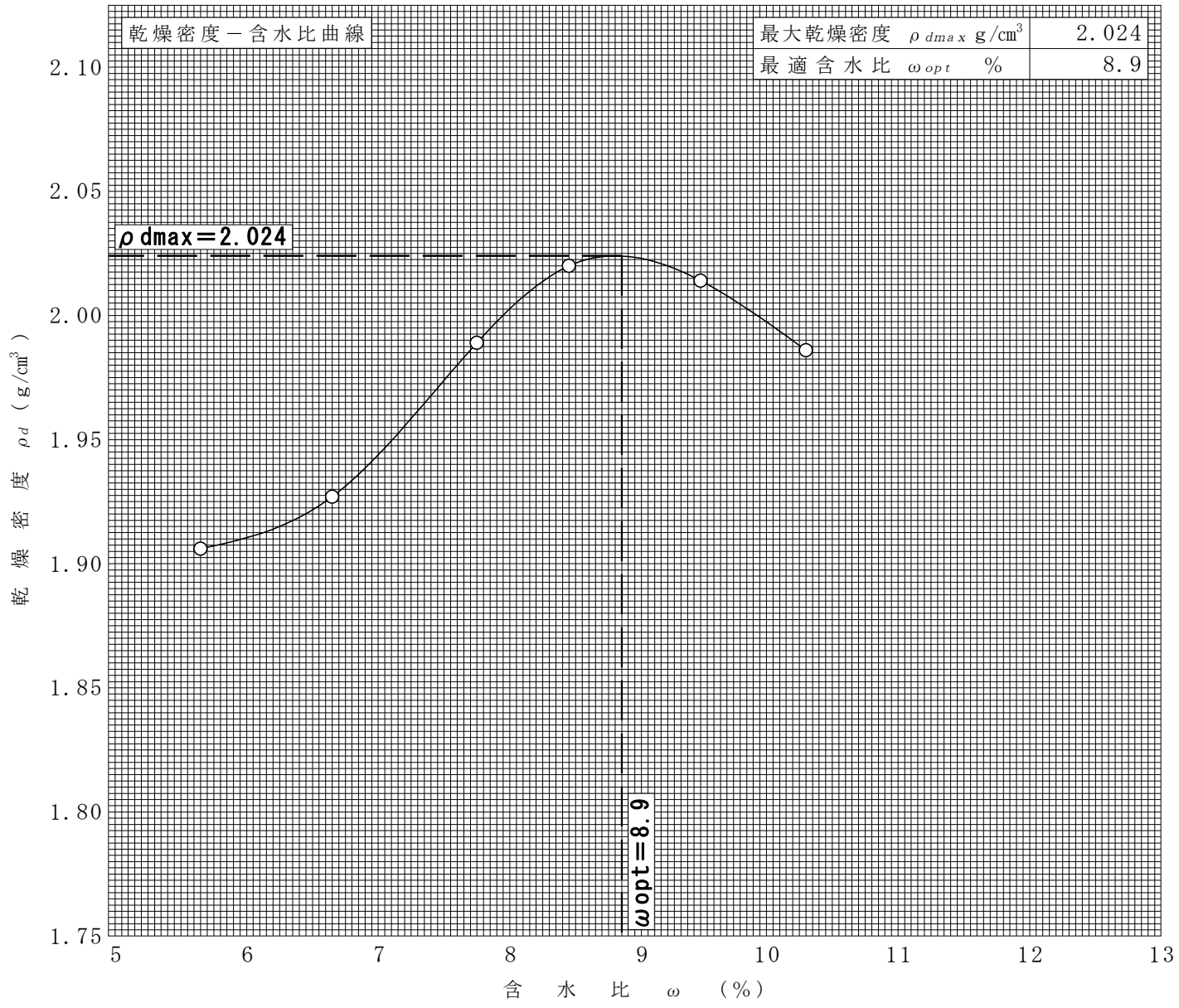
JIS A 1210
JGS 0711

突固めによる土の締固め試験（締固め特性）

調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月 17日

試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試　験　者　樋 山　義 弘

試験方法		Ｅ－ｂ		土質名称					
試料の準備方法		乾燥法		ランマー質量 kg		4.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm³		
試料の使用方法		非繰返し法		落下高さ cm		45	試料調整前の最大粒径 mm		37.5
含水比	試料分取後 ω_0 %			突固め回数 回/層		92	モールド	内径 cm	15
	乾燥処理後 ω_1 %			突固め層数 層		3		高さ[1] cm	12.5
測定 No.		1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 ω %		5.7	6.7	7.8	8.5	9.5	10.3		
乾燥密度 ρ_d g/cm³		1.906	1.927	1.989	2.020	2.014	1.986		



特記事項

1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_\omega}{\rho_\omega / \rho_s + \omega / 100}$$

JIS A 1211
JGS 0721

CBR試験（初期状態，吸水膨張試験）

調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月 21日

試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試　験　者　樋 山　義 弘

試験方法		締固めた土	ランマー質量 kg		4.5	土質名称	
突固め方法		修	落下高さ cm		45	自然含水比 ω_n %	
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層		92	最適含水比 ω_{opt} %	8.9
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層		3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm³	2.024
	試料調整後含水比 ω_0 %		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ[1] cm	12.5	モールド容量 V cm³	2209

供試体 No.			1		2		3	
含水比	容器 No.							
	m_a	g						
	m_b	g						
	m_c	g						
	ω_1	%						
	平均値 ω_1	%	8.9		8.9		8.9	
密度	(試料＋モールド)質量 m_2[2]	g	11706		11683		11705	
	モールド質量 m_1[2]	g	6839		6817		6837	
	湿潤密度 ρ_t	g/cm³	2.203		2.203		2.204	
	乾燥密度 ρ_d	g/cm³	2.023		2.023		2.024	
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		1	0.01	0	0.00	1	0.01
	(試料＋モールド)質量 m_3[2]	g	11724		11701		11722	
	膨張比 γ_e	%	0.008		0.000		0.008	
	湿潤密度 ρ'_t	g/cm³	2.211		2.211		2.211	
	乾燥密度 ρ'_d	g/cm³	2.023		2.023		2.024	
	平均含水比 ω'	%	9.3		9.3		9.2	

特記事項

1）スペーサーディスクの高さを差引く。
2）モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1\right) \times 100$$

JIS A 1211
JGS 0721

ＣＢＲ試験（室内試験結果）

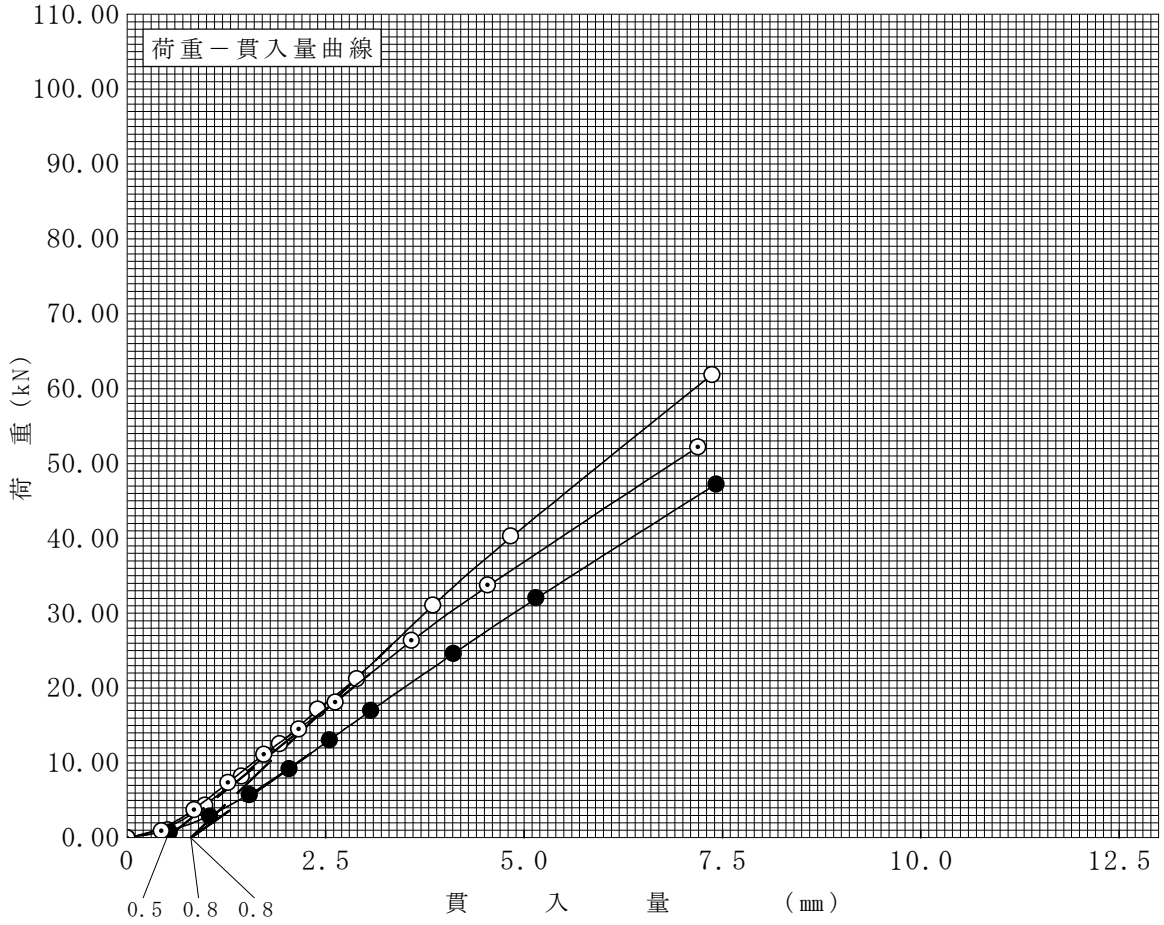
調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月　25日

試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試　験　者　樋山　義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	92	自然含水比 ω_n	%	
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%	8.9
養生条件	日空気中	モールド	内径 cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm³	2.024
	4日水浸		高さ[1] cm	12.5			

供試体No.			1	2	3
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	8.9	8.9	8.9
		乾燥密度 ρ_d g/cm³	2.023	2.023	2.024
	後	膨張比 γ_e %	0.008	0.000	0.008
		平均含水比 ω' %	9.3	9.3	9.2
		乾燥密度 ρ'_d g/cm³	2.023	2.023	2.024
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		189.9	139.5	159.7
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		243.6	182.7	203.0
	ＣＢＲ %		243.6	182.7	203.0

平均ＣＢＲ　%
209.8



特記事項
1)スペーサーディスクの高さを差引く。

貫入量mm		2.5	5.0
荷重	供試体No.1	25.446	48.483
	供試体No.2	18.687	36.361
	供試体No.3	21.397	40.402
標準荷重 kN		13.4	19.9

JIS A 1211
JGS 0721

CBR試験（初期状態，吸水膨張試験）

調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月　21日

試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試　験　者　樋山　義弘

試験方法		締固めた土	ランマー質量 kg		4.5	土質名称	
突固め方法		修	落下高さ cm		45	自然含水比 ω_n %	
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層		42	最適含水比 ω_{opt} %	8.9
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層		3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm^3	2.024
	試料調整後含水比ω_0%		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ[1] cm	12.5	モールド容量 V cm^3	2209

供試体 No.			4		5		6	
含水比	容器 No.							
	m_a	g						
	m_b	g						
	m_c	g						
	ω_1	%						
	平均値 ω_1	%	8.9		8.9		8.9	
密度	(試料＋モールド)質量 m_2[2]	g	11568		11525		11516	
	モールド質量 m_1[2]	g	6853		6811		6907	
	湿潤密度 ρ_t	g/cm^3	2.134		2.134		2.086	
	乾燥密度 ρ_d	g/cm^3	1.960		1.960		1.916	
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96		1	0.01	1	0.01	1	0.01
	(試料＋モールド)質量 m_3[2]	g	11593		11548		11537	
	膨張比 γ_e	%	0.008		0.008		0.008	
	湿潤密度 ρ'_t	g/cm^3	2.146		2.144		2.096	
	乾燥密度 ρ'_d	g/cm^3	1.960		1.960		1.916	
	平均含水比 ω'	%	9.5		9.4		9.4	

特記事項

1）スペーサーディスクの高さを差引く。
2）モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1\right) \times 100$$

JIS A 1211
JGS 0721

CBR試験（室内試験結果）

調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月　25日

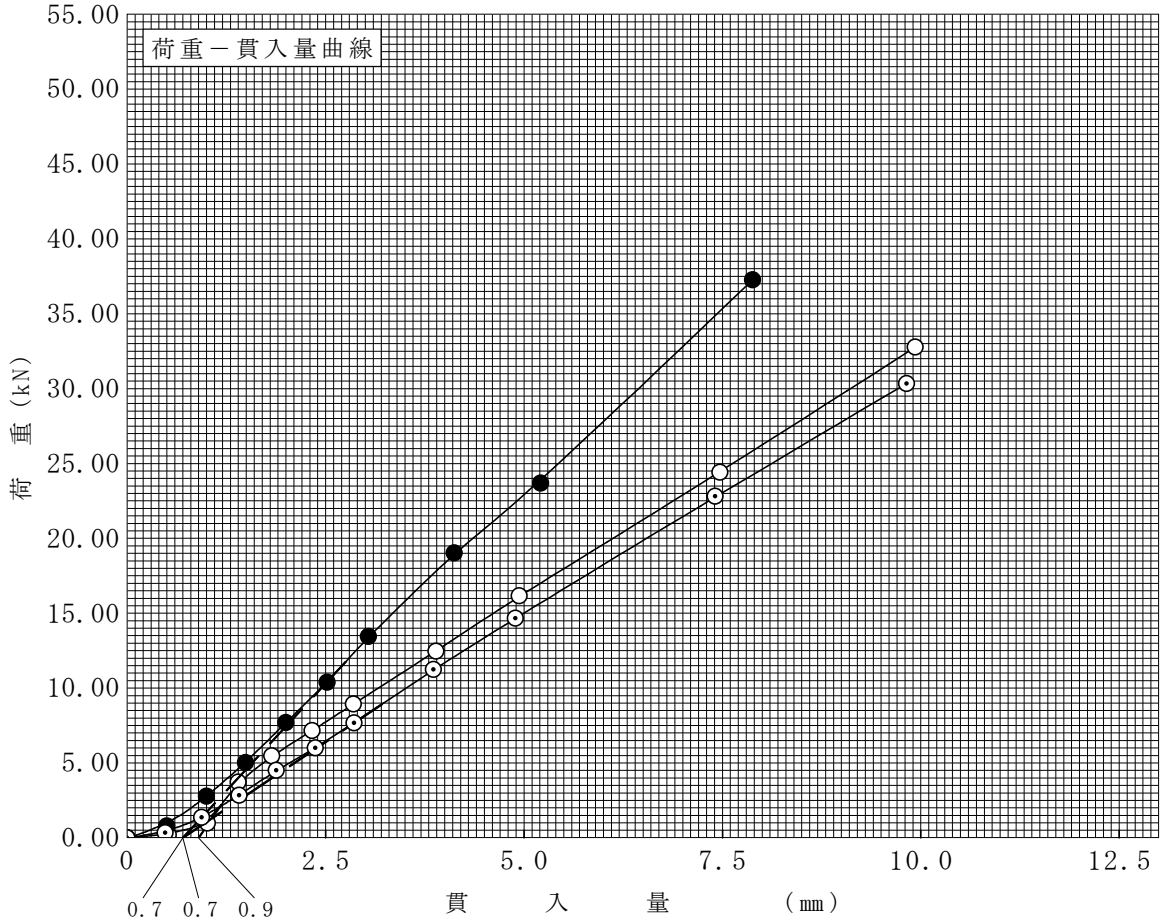
試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試　験　者　樋山　義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	42	自然含水比 ω_n	%	
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%	8.9
養生条件	日空気中	モールド	内径 cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm³	2.024
	4日水浸		高さ[1] cm	12.5			

供試体No.			4	5	6
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	8.9	8.9	8.9
		乾燥密度 ρ_d g/cm³	1.960	1.960	1.916
	後	膨張比 γ_e %	0.008	0.008	0.008
		平均含水比 ω' %	9.5	9.4	9.4
		乾燥密度 ρ'_d g/cm³	1.960	1.960	1.916
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		80.6	106.3	66.3
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		96.9	132.2	86.8
	CBR %		96.9	132.2	86.8

平均CBR %
105.3

特記事項
1)スペーサーディスクの高さを差引く。



貫入量mm		2.5	5.0
荷重	供試体No.4	10.802	19.285
	供試体No.5	14.238	26.309
	供試体No.6	8.888	17.275
標準荷重 kN		13.4	19.9

JIS A 1211
JGS 0721

CBR試験（初期状態，吸水膨張試験）

調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月　21日

試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試　験　者　樋山　義弘

試験方法		締固めた土	ランマー質量 kg		4.5	土質名称	
突固め方法		修	落下高さ cm		45	自然含水比 ω_n %	
試料準備	準備方法	非乾燥法	突固め回数 回/層		17	最適含水比 ω_{opt} %	8.9
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層		3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm^3	2.024
	試料調整後含水比ω_0%		モールド	内径 cm	15	荷重板質量 kg	5.0
				高さ[1] cm	12.5	モールド容量 V cm^3	2209

供試体 No.			7		8		9		
含水比	容器 No.								
	m_a	g							
	m_b	g							
	m_c	g							
	ω_1	%							
	平均値 ω_1	%	8.9		8.9		8.9		
密度	(試料＋モールド)質量 m_2[2]	g	11218		11363		11234		
	モールド質量 m_1[2]	g	6803		6882		6805		
	湿潤密度 ρ_t	g/cm^3	1.999		2.029		2.005		
	乾燥密度 ρ_d	g/cm^3	1.836		1.863		1.841		
吸水膨張試験	水浸時間 h	時間	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	
	0		0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	1								
	2								
	4								
	8								
	24								
	48								
	72								
	96		1	0.01	2	0.02	1	0.01	
試験	(試料＋モールド)質量 m_3[2]	g	11254		11392		11267		
	膨張比 γ_e	%	0.008		0.016		0.008		
	湿潤密度 ρ'_t	g/cm^3	2.015		2.041		2.020		
	乾燥密度 ρ'_d	g/cm^3	1.836		1.863		1.841		
	平均含水比 ω'	%	9.7		9.6		9.7		

特記事項

1）スペーサーディスクの高さを差引く。
2）モールドの質量は有孔底板を含む。

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho'_t = \frac{m_3 - m_1}{V(1 + \gamma_e / 100)}$$

$$\rho'_d = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e / 100}$$

$$\omega' = \left(\frac{\rho'_t}{\rho'_d} - 1\right) \times 100$$

JIS A 1211
JGS 0721

CBR試験（室内試験結果）

調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月　25日

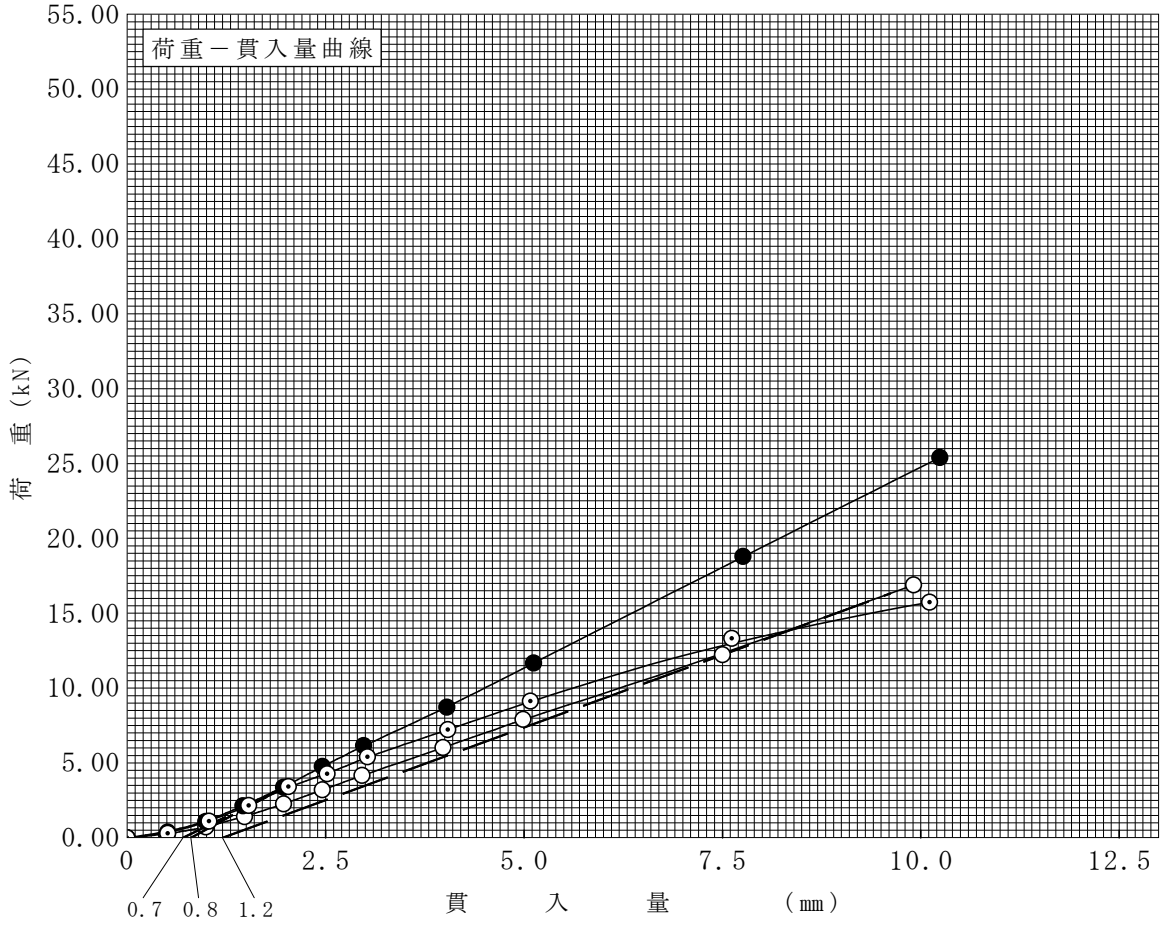
試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ（RC-40）　　試験者　樋山　義弘

試験方法	締固めた土	ランマー質量	kg	4.5	土質名称		
突固め方法	修	落下高さ	cm	45	空気乾燥前含水比	%	
試料の準備方法	非乾燥法	突固め回数	回/層	17	自然含水比 ω_n	%	
試験条件	水浸	突固め層数	層	3	最適含水比 ω_{opt}	%	8.9
養生条件	日空気中	モールド	内径 cm	15	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	g/cm³	2.024
	4日水浸		高さ[1] cm	12.5			

供試体No.			7	8	9
吸水膨張試験	前	含水比 ω_1 %	8.9	8.9	8.9
		乾燥密度 ρ_d g/cm³	1.836	1.863	1.841
	後	膨張比 γ_e %	0.008	0.016	0.008
		平均含水比 ω' %	9.7	9.6	9.7
		乾燥密度 ρ'_d g/cm³	1.836	1.863	1.841
貫入試験	試験後の含水比 ω_2 %				
	貫入量2.5mmにおけるCBR %		41.1	51.7	42.5
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		50.2	67.8	50.9
	CBR %		50.2	67.8	50.9

平均CBR %
56.3

特記事項
1)スペーサーディスクの高さを差引く。



貫入量mm		2.5	5.0
荷重	供試体No.7	5.509	9.990
	供試体No.8	6.929	13.496
	供試体No.9	5.700	10.137
標準荷重 kN		13.4	19.9

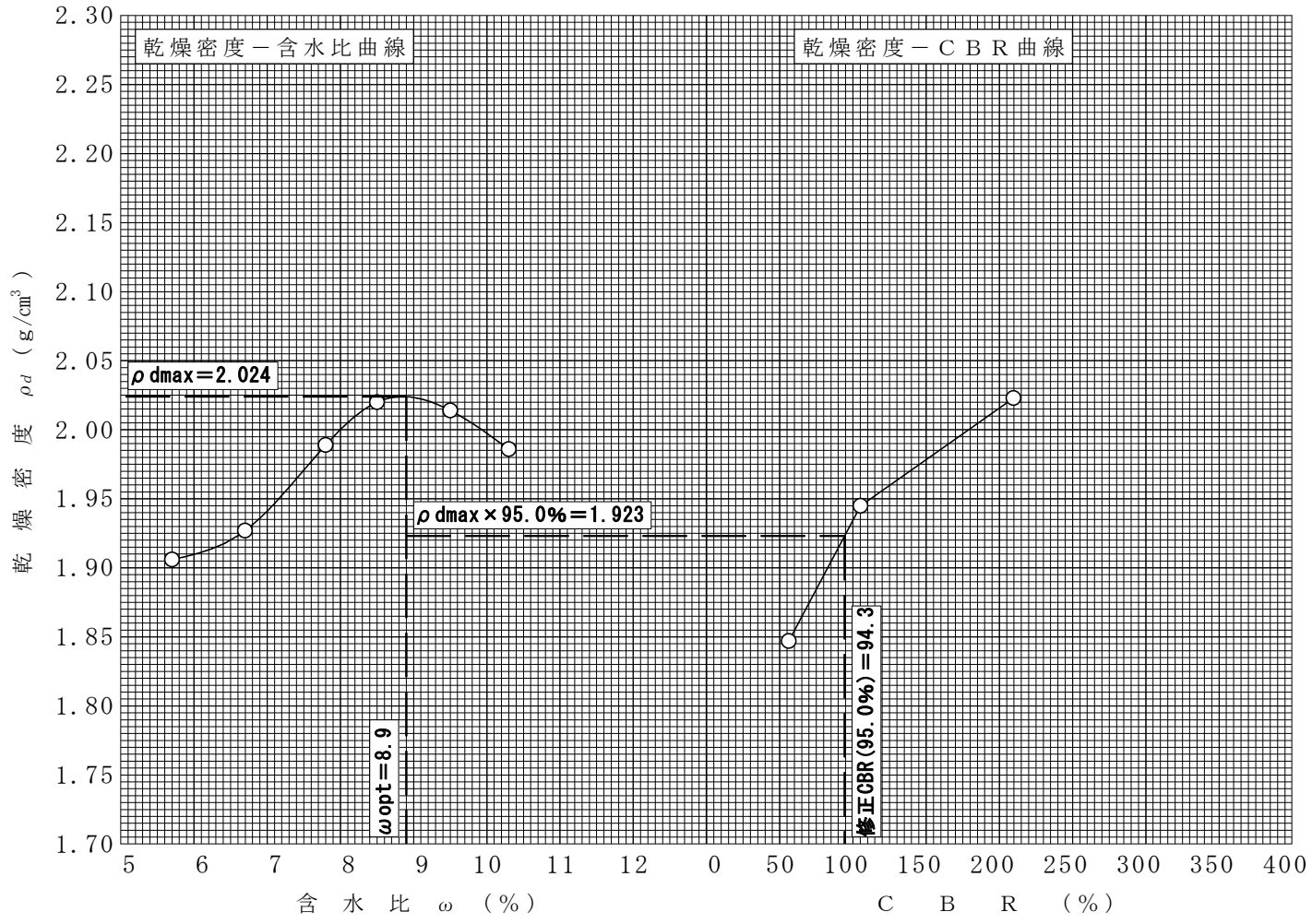
修　正　Ｃ　Ｂ　Ｒ　試　験

調査件名　再生路盤材　材料試験　　試験年月日　2025年　2月 25日

試料番号(深　さ)　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ (RC-40)　　試　験　者　樋 山　義 弘

供試体No.	92-1,2,3			42-4,5,6			17-7,8,9		
突固め回数　回/層	92		(3層)	42		(3層)	17		(3層)
乾燥密度 ρ_d g/cm³	2.023	2.023	2.024	1.960	1.960	1.916	1.836	1.863	1.841
平均値 ρ_d g/cm³	2.023			1.945			1.847		
貫入量2.5㎜におけるCBR %	189.9	139.5	159.7	80.6	106.3	66.3	41.1	51.7	42.5
平均値 %	163.0			84.4			45.1		
貫入量5.0㎜におけるCBR %	243.6	182.7	203.0	96.9	132.2	86.8	50.2	67.8	50.9
平均値 %	209.8			105.3			56.3		

ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm³	2.024	締固め度 %	95.0	
		最適含水比 ω_{opt} %	8.9	修正ＣＢＲ %	94.3	



特記事項